

祝 議会広報  
50号



金婚式おめでとう 上第2保育園 遊戯披露

議会だより



# あさぎり

No.50  
H28.11.4 発行

あさぎり町議会 [検索](#)

通年議会  
第3回会議

平成27年度一般会計決算状況… 2～5P  
 平成28年度一般会計補正予算…… 6P  
 一般質問に10人が登壇 …………… 8～12P



上第2保育園 はじめての運動会

# 平成27年度 一般会計決算状況

財政構造については、専門用語が使われていますが  
より身近な用語の貯金や、借金でみると・・・

## 貯金

町民一人当たり 51万8千円※

基金の残高 82億 6,425万円で、前年に比べ 3億 1,894万増えた。  
(前年比 4.0% の増加)

## 借金

町民一人当たり 69万3千円※

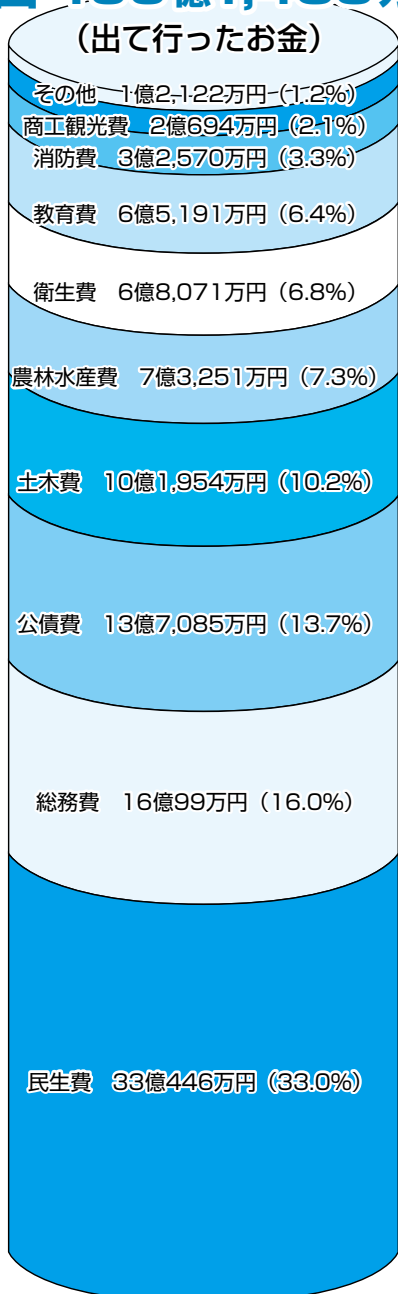
町債の残高 110億 5,312万円で、前年に比べ 7億 805万円  
減少した。(前年比 6.0% の減少)

※総数15,944人(H28年3月31日現在)で算出

## 目的別歳入・歳出決算の状況

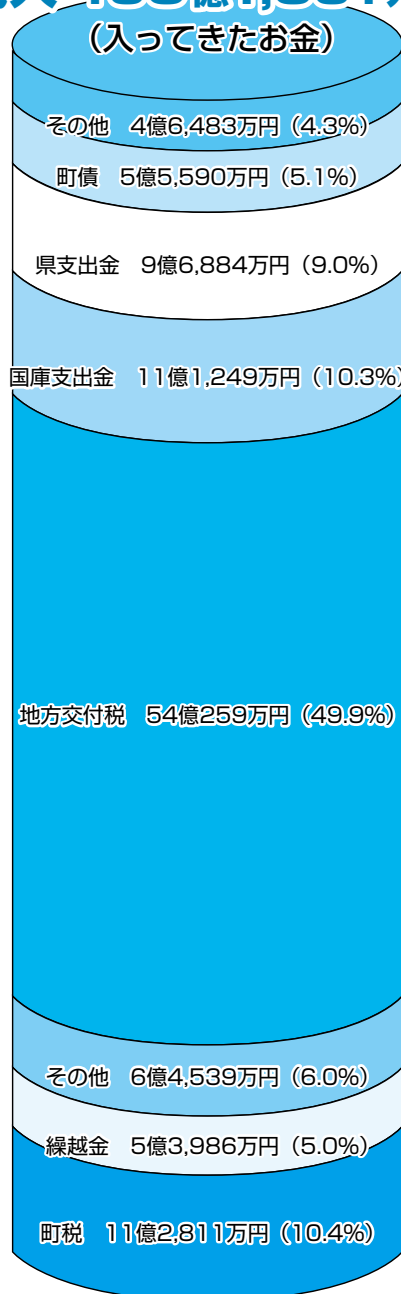
歳出 100億1,483万円

(出て行ったお金)



歳入 108億1,801万円

(入ってきたお金)



依存財源 (78.6%)

自主財源 (21.4%)

## ◆平成 27 年度 特別会計の決算状況

(単位万)

会 計 名	収 入 額	支 出 額	残 額
国 民 健 康 保 険	26億5,761万円	25億6,423万円	9,338万円
後 期 高 齢 者 医 療	1億7,862万円	1億7,535万円	327万円
介 護 保 険	19億7,200万円	19億3,040万円	4,160万円
介 護 サ ー ビ ス	240万円	240万円	0万円
簡 易 水 道 事 業	3億4,930万円	3億1,180万円	3,750万円
水 道 事 業	6,957万円	5,463万円	1,494万円
下 水 道 事 業	8億9,442万円	8億6,519万円	2,923万円
上 財 産 区	5,641万円	4,400万円	1,241万円
球磨郡障害認定審査事業	1,028万円	965万円	63万円
球磨郡介護認定審査事業	3,458万円	3,235万円	223万円

※端数を処理してあります。

※介護サービスは H28 年度から介護保険特別会計に統合されます。

## 監査委員の意見書

### 【一般会計】

一般会計歳入の 10% 以上を占める町税の徴収率（現年 + 過年度分）は 92.9% であり、過去 5 ケ年の推移を見ても毎会計年度微増しており良好な状況にある。

### 財政構造

本町の自主財源比率は 21.4% で年々上昇しているが、類似団体と比較してもまだ低い水準にある。また、地方交付税が合併算定替※により少なくなるような状況で住民生活を守るための優先順位等を考慮した規律ある財政運営に努めてほしい。

※合併算定替とは。

合併前の旧市町村ごとに算定される額の合算額を下回らないように普通交付税を算定。（合併年度及びこれに続く 10 年度。その後 5 年度は段階的に縮減。現在あさぎり町は 14 年目にあたる。）

### 財政分析

財政の弾力性を示す経常収支比率については、本年度 84.2% であるが、ここ数年上昇傾向を示している。類似団体（平成 26 年度 86.8%）と比較すると低い水準ではあるが、注視していく必要があると考える。

平成 27 年度実質収支比率 10.0% について、前年度に比べ、3.0% 増加しているが、一般的に 3% ~ 5% 程度が望ましいとされていることから、財政運営も含めて妥当な水準の行政サービスが確保されたのかどうか検討する必要があると考える。

### 【特別会計】

#### あさぎり町水道事業特別会計

水道基本計画による簡易水道と水道事業の再編統合及び公営企業会計を適用する機会を期に適正な料金体系等、経営改善の見直しが必要と考える。

平成 27 年度末における水道使用料金の収納状況については、下記のとおりである。

未収額は 4,250 千円で、調定額の 5.5%（前年度 5.3%）を占め、前年度に比べ 196 千円（4.8%）増加している。不納欠損額は 11 千円で、前年度（0 円）に比べ 11 千円増加しており、滞納も現存しているので、さらなる徴収努力をお願いしたい。

#### 水道使用料金の収納状況

(単位：円・%)

年度	区 分	調定額等	収入済額	不納欠損額	未収額	徴収率
27	現年度分	73,017,122	70,821,616		2,195,506	97.0
	過年度分	4,054,802	1,988,451	11,370	2,054,981	49.0
	計	77,071,924	72,810,067	11,370	4,250,487	94.5
26	現年度分	71,990,337	70,137,953		1,852,384	97.4
	過年度分	4,876,700	2,674,282	0	2,202,418	54.8
	計	76,867,037	72,812,235	0	4,054,802	94.7

# 税金や使用料等の

## 平成27年度収納状況

(収入未済額)

### 滞納額

# 3億2,000万円

〈主なもの〉

町税	8,322万円
国民健康保険税	9,005万円
保育料	1,129万円
公営住宅使用料	1,368万円
介護保険料	597万円

簡易水道料	365万円
下水道使用料	962万円
下水道分担金	378万円
水道事業使用料	219万円

※監査意見資料より、端数切捨ててあります。

## 平成27年度決算審議内容の抜粋

### 総務文教常任委員会所管課分

(総務課・会計課・企画財政課・教育委員会)

**問** 防災管理費では298万円備品購入とあるが、町民への対応は出来ているのか。

**答** 人吉盆地南縁断層地震を想定した時に地区の該当者の65%、1,528名分の3日程度分として準備購入した。

**問** 職員の接遇等町民からの声もあるが、職員研修ではどうい内容の研修を行っているのか、そしてその効果は。

**答** 年度で内容を変えながら実施している。今年度は人事評価の研修、接遇については26年度に実施した。

**問** コンピューターシステム・ネットワーク等の利用料が年々増加している。今後の維持管理やメンテナンスの効率化について、経費削減に取り組むべきでは。

**答** ソフトウェアの活用については各町村それぞれではなく、人吉球磨共通のものを使うなど連携を行っていききたい。

**問** 生涯学習センター、せきれい館の図書館については、司書の活動により図書館の購入も充実してきている。今後の特色ある図書館の活用は。

**答** コーヒーを飲みながらとか、ゆったり落ちついてすごせるスペースの確保など、町民が集いやすいことが一番なので、取り組んでみる価値がある。

**問** 地域学校安全指導員は現在何人か。子供たちの見守りをボランティアで対応していただいているが、謝礼のアップとかの考えは。



集いやすい図書館を目指して(生涯学習センター)

**答** 現在4人と各地区のボランティアの方々で対応していただいている。現場の声を聞きながら検討したい。

**問** 伝統芸能継承等の問題をいかに解決していくのか。

**答** 後継者不足、発表の場等、解決しなければならぬ課題があるので検討していきたい。

## 厚生常任委員会所管課分

(税務課・町民課・福祉課・保健環境課)

**問** 乗り合いタクシーの利用状況と今後の課題は。

**答** 定期路線、予約路線とも増加傾向。要望が多いのは時間帯と路線の見直し。詳しく精査し、今後の路線の方針を決めたい。



利用増加にある乗合タクシー

**問** 緊急通報装置の利用状況は。

**答** 78名が利用中。今回新規で6名に設置。緊急で8名の利用があった。

**問** 地域型サロン事業の実施状況は。

**答** 52行政区の計画で45区実施。全地区で378回開催され、延べ5,552名が参

加。実施されなかった地区では、公民館の使い勝手の悪さも一つの原因。介護予防に非常に効果

の高い事業と位置づけており、強力に推進していく。

**問** 町税の不納欠損額とする理由は。

**答** 一つ目が財産がないこと。二つ目が生活困窮、生活保護。三つ目が所在不明、財産も不明。あと一つが即時消滅。

**問** しらがね寮の財源は。

**答** 民生費負担金の生活費負担金、事務費負担金、1億1,624万2,570円。

**問** 子供医療費助成制度が現物支給から償還払いになったが医療費は減額出来たのか。

**答** 26年度から償還払いというところでスタートして実績的には25年度からすれば1,000万円程度減少した。

**問** 熊本県虫歯予防対策(フッ化物洗口)の現在の状況は。

**答** 平成28年度の園児が99%、小学生が98.3%、中学校は92.6%実施。

**問** 青年就農給付金(経営開始型)事業補助金返還金の返還の理由は。

**答** 親元就農の一部継承で、新規作物の家族間協議がなされなかった。

**問** 多面的機能支払交付金事業は現在進行中の事業であるが、各組織の格差に疑問を感じるが、広域協定を結んで目的達成のために今後どうして進めていくのか。

**答** 交付金利活用して、運営委員会が協議しながら、優先順位をつけてやりたい。



道路維持状況調査

**問** 結婚対策事業費の実績・効果は。

**答** 11回計画したが、女性の参加者が少なく、3回実施。7組が交際中で1組が入籍予定。広告の効果は町外からの参加者が増。

**問** 販路拡大事業の費用対効果は。

**答** 新商品開発が3商品、取引先にアピールする機会が増えている。

**問** 道路維持費で除草剤の活用は。

**答** 平成28年度に向けて噴霧器2台を購入し使用している。作業員の草刈りと併用し、景観上有効利用し、縁石のみ散布。

**問** 橋りょう点検(近接目視)業務は、残りの橋の点検、目視で安全なのか、町道にかからない橋の状況は把握できているか。

**答** 法で定められており、5年に1回点検を実施。ひび割れ、コンクリート破損等、目視とハンマー打音で実施。私道橋もあるので計画はない。

# 平成28年度 一般会計補正予算(第3号)

## 4億6,745万円を追加し

総額

# 106億5,547万円

### 主な内容

- ◆ 役場本庁舎のトイレや  
会議室などの改修工事費  
…… 3,599万1,000円

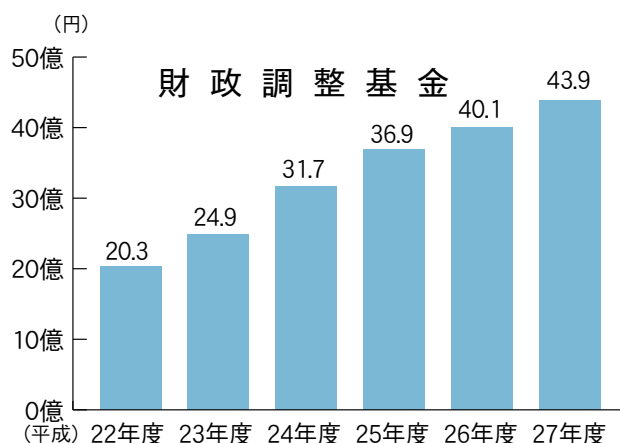


- ◆ 深田の高山体育館の  
改修工事費  
…… 1,493万1,000円

- ◆ 旧須恵中学校跡地  
(グラウンド)の  
用地整備工事費  
…… 1,630万円



- ◆ 財政調整期金への積立  
…… 2億6,430万円  
財政の安定化に資するため、  
法に基づき積み立てるもの



# 条例の制定及び改正・表決一覧 抜粋

## 議案第 11 号

### あさぎり町運動公園条例の一部を改正する条例の制定について。

あさぎり町葉草加工所（仮称）の建設に伴い、深田地区グラウンドの用途を廃止するため。

## 議案第 12 号

### あさぎり町公有財産の無償譲渡について。

あさぎり町が所有する上地区永山阿弥陀堂用地を永山地区が今後も維持管理・補修等を行い、次の世代に引き継いでいき安定的かつ良質な保全の実施を図ることができるようにするため、無償で譲渡するもの。

## 議案第 13 号

### 国営川辺川土地改良事業建設事業費の負担区分について。

国営川辺川土地改良事業計画変更等に伴い、国、県、市町村及び受益農家の負担割合が変更となったため。

## 発議第 7 号

### 青少年健全育成基本法の制定を求める意見書について。

青少年健全育成に対する基本理念や方針などを明確にし、有害環境から青少年を守る為、国、地方公共団体、事業者そして保護者等の責務を明らかにし、これによる一貫性のある包括的、体系的な法整備が必要なため。

## ■第 3 回会議 表決一覧（抜粋）

議案名	議員名	市岡	難波	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	豊永	永井	皆越	小見田	奥田	久保田	溝口	徳永
平成 28 年度あさぎり町一般会計補正予算(第 3 号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 28 年度あさぎり町上財産区特別会計補正予算(第 1 号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 27 年度あさぎり町一般会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
青少年健全育成基本法の制定を求める意見書について		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 10人が登壇

責任においてそのまま掲載とします。

## 問 米の生産調整の見直しへの対応は



小見田 和行 議員

**小見田** 2018年産より、米の生産数量の国による配分をやめる方針であり、転作作物導入による水田活用所得の確保については、より産地の自主性に委ねることとなっている。政策誘導次第によっては地域間格差が生じるものと危惧する。2017年はそれに備える期間と捉えて、国、県、JA等の関係機関との連携を図り万全を期すべきと思うが、この事について協議には入っているのか。

**町長** まだ本格的な議論には至っていないが、営農形態の根幹にかかわる事と認識している。

**小見田** 農林水産省の2017年度予算の概算要求の中に「野菜生産転換促進事業」という新規事業もあるが、2018年産以降は野菜の振興も図るのか、WCS、飼料米か、あさぎり農政の誘導を今どう考えているか。

**農業振興課長** 今JA担当レベルでの協議ではこれまで通り、営農計



コメが語りかけるモノ

画書による状況把握を基に、WCSの作付拡大している中で、主食用米、大豆、麦の作付拡大を図る考えで、野菜は裏作栽培で振興していきたい。

一般質問

## 問 買い物弱者支援の取組みは



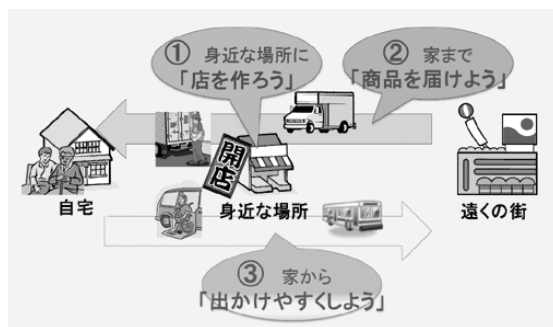
難波 文美 議員

**難波** 一年間で約100万人の買い物弱者といわれる対象者が増加している。町内ではこの現実について対策があるのか。  
**高齢福祉課長** 内閣府の調査を元にした推計値は約1,100人が町内対象者と思われる。

**難波** 人吉市と錦町で巡回販売が始まっているが、その把握はできていたのか。

**町長** 2年位前に郡の町村会と一緒にどうかとの相談はあったが、もう少し状況を見た上で検討してみたいと思った。

**難波** 全国的に広がっている巡回支援は単なる買い物サービスではなく、ひとり暮らし高齢者の安否確認や交流活動も兼ねる住民生活向上の大変重要な取組みである。町民の幸福と健康につながる地方創生事業の一つとして是非とも予算に組み込んで早期実現を目指していくべき。  
**生活福祉課長** 来年度の介護保険法の改正等で検討されていく。地域包括ケアシステムの構築の



自治体と企業が知恵を出し合い、全国的に広がっている買い物支援

中で高齢者の支援を行っていく。  
**町長** できるだけ町の負担なく自立して取り組むよう民間でやって頂くのが一番だと思う。他町村の動きを踏まえ対策を考える。



# 一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

※一般質問の文章については、質問者の

## 問 町民にとつての「幸福」と「健康」の取り組みは

**加賀山** 「幸福」と「健康」というキーワードの町民への周知度は。

**副町長** まだ一割程度だと思う。地区の代表や役員の方には会議の折に話したり、広報紙で伝えていくが認識してもらおうのはこれから。

**加賀山** 町の基本目標として進めていくのに現状ではまだ広がっていない。地方創生という言葉自体も解りづらいし、関係ないという

町民の声もある。  
**町長** 塗金獣帯鏡・幸福駅、薬師さんともタイアップして強く町のPRにつなげていきたい。

**加賀山** これからの町づくりを進めるには、地域の人たちと一緒にワークショップから始めてみては。

**町長** 地域活性化の成功の大事なポイントは、町民の皆さんにか



加賀山 瑞津子 議員

に賛同して動いてもらうか。その地元の方と話す機会を持ち、地元で盛りあがっていったらというように取り組んでいきたい。  
**加賀山** ここ一年でどれだけ周知度を高めていくのか。  
**町長** 目標100%を目指す。



塗金獣帯鏡

免田地区の才園古墳出土の日本に3枚しかない、国指定の鏡。

「この鏡を持つ者には幸福と長寿が得られる」という言葉が書かれている。現在教育委員会で2つのレプリカの展示を計画中。併せて出土した才園古墳の保護保存にむけて環境調査実施中。

## 問 TPPの情報は

**永井** 本町は、基本的にTPPには反対の立場だが、TPPについて町はどういう情報をつかんでいるのか。

**農業振興課長** 国の第2次補正予算でTPP対策として産地パワーアップ事業・畜産クラスター事業、新規事業として中山間地域を対象とした所得向上対策事業・農家の収入減少に伴う収入保険制度の導入の議論もなされているようなので、内容を確認した上で農家に伝えていきたい。

### ◎小学校教育について

**永井** 小学校の外国語活動(英語)の現状と課題は。

**教育長** 教える側(先生)も若干の不安もあるが、先生方の負担にならないように支援しなければならぬし、児童が通常の中



永井 英治 議員

で英語に触れる環境を作りたい。

**永井** 免田小学校のプールは、「夏休み期間中のプールの使用はすべての責任はPTAにある」と言う理由から、限られた児童しか使用できないのが現状だが、代替え措置としてB&Gプールの週何回かでもスクールバスの運行はできないか。  
**教育課長** 夏休み期間はPTAが責任を持つという事であるから、もう少し内部で検討をさせてほしい。



TPPの影響が懸念される農業

## 問 県営清願寺ダム関連の管水路の整備は



橋本 誠 議員

**橋本** 免田川地区地域防災減災事業(特定農業用管水路対策事業)が実施されている。今回の事業から除外されている管は完成から30数年を経過しており、相当老朽化している。その維持管理は、今後の大きな課題と考えているが、整備計画を問う。

**農業振興課長** 上村 土地改良区の管理の農業用施設になるので、計画立案及び事業主体は土地改良区となる。これまで要望等を受け、事業費の一部について支援をしてきたところである。土地改良区の負担も発生するため、有利な補助事業等に取り組めないか等の確認をして、県営のダムでもあり県にも支援の要望活動を行っていききたい。

**橋本** 農家の高齢化、後



補修が完了した水管橋

継者不足等を考慮した場合、一つの土地改良区で解決できる問題でなく、今後、農家の生産基盤確立のためにも関係団体との連携が必要と考えるが、どうか。

**農業振興課長** 運営コストの削減等に努めていただいて、将来にわたって、土地改良区の在り方についてもしっかりと議論していただきたい。

◎**その他の質問**  
入札の事務執行の正しい手続きがなされているか。

## 問 ごみ袋を変更した経緯は



豊永 喜一 議員

**豊永** ごみ収集作業における安全性の確保及びごみ減量の促進を図ると共に、ごみ出しマナーの向上を図る目的として、ごみ袋が指定されているが、ごみ袋を変更した経緯は。

**町民課長** 手提げ式に変更した経緯は、以前からの町民の要望、高齢の方が持ち運びしやすいこと、区長会の方からも要望が出ていたというのが大きな要因。

**豊永** 取っ手つきに替えたことよって、以前より多く入らない、破れやすいということもある。住民の方にも願います。以上は、価格面の流れとか公表して値段を下げるべきでは。

**町長** ごみ袋の大きさ、形状、強度色々検討すべき課題

がある。近隣町村の価格もあるし、総合的にもう少し見直しをして、そういう結果で値下げ余地があるか、町民の皆さんが一番使いやすい形を考えてみる。いきなり結論を出すのは難しい面があるので、指摘されたことを含め、今後検討したい。



燃えるごみ袋 旧(左)・新(右)

# 問 国営川辺川総合土地改良事業計画

## 変更は

**久保田** 計画から40数年、実に3世代にわたって進められてきた本事業は、初期の目的を実現できず再々計画変更となった。今回の計画変更に必要な3分の2の同意取得は厳しいのではないかと考える。説明会、同意に向けた町の考えを問う。

**町長** これ以上先送りできない。農家の不安を解消できるかわからないが、色々難しい局面はあるとしても一定の方向づけをして進めていきたい。

**久保田** 具体的にどのような説明会を開催されるのか。

**農業振興課長** 一度に全事業について説明するのではなく、まず区画整理の方から始め次に農地造成を行う。対象者は合計で2,500名程で広報誌でも説明をしていく。



久保田 久男 議員



農地造成地(阿蘇団地)

**久保田** 最終的に同意してもらうためにも、負担軽減だけでなく、現在対象地は中山間直接支払制度事業からはずれているので、これを何とか国・県に対して特別で認めていただくことができないものか。

**町長** 傾斜の問題があり、ハードルは高いと考える。しかし、説明会の中で、農家の姿・思いをしっかりと受け止め可能性を探っていききたい。

一般質問

# 問 あさぎり町の奨学金のあり方は

**市岡** 年々社会情勢が変化していく中、国も制度の見直しが見直され、あさぎり町においても現在の制度で地域の生活環境や子育て環境に整合性があるのか。

**町長** 奨学金制度は非常に重要な制度と

思っている。

**教育課長** 貸付状況は、昨年、今年と各

20名の利用である。ここ2年ほど増加傾向にある。制度の必要性は増していると

考えるが、見直しという部分では近年されていない。

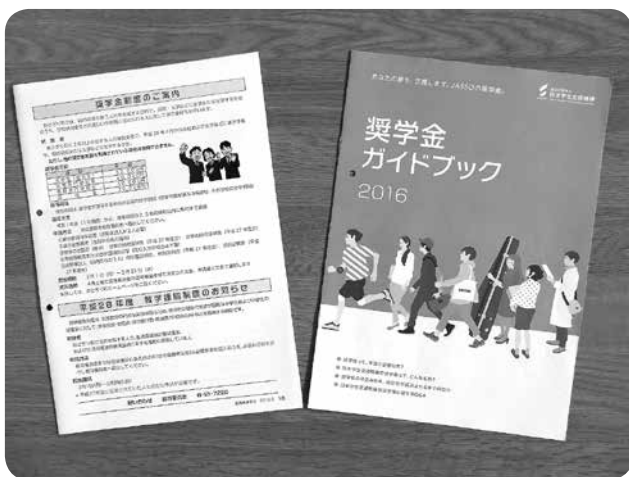
**市岡** 貸付額の増額又、償還期間の延長等で負担額を減らす考えは。

**教育課長** 自治体の状況からして県内では一番高い金額である。運用のバランスも必要と考える。就職しても収入が少ない、仕事につけない状況が続くなどの場合は償還の猶予申請がある。

**町長** 子ども達が志を持って自分の資質を上げ学校等に行く事は大事な事。やり方を考えるべき時期に来ている。今日の段階では基金の増額を検討する場面にあると考える。



市岡 貴純 議員



奨学金についてのガイドブック (詳しくは教育課まで)

## 問 上地区住民の賛同を得ず 財産区の解散は



溝口 峰男 議員

**溝口** 上地区民の賛同を得ず財産区を解散し山も基金も町が管理することを強引に進めることはやるべきではない。  
**町長** 町長に就任して10年目に入って財産区のある方を色々自問して来た。そのような中で管理会から財産区のある方の要望書が提出され、それをもとに説明会を実施してきた。今後は、慎重に様々な角度から検討を進めていく。

**溝口** 基金(3億6000万円余)も全国の財産区では、財産区民のために使用されている。上財産区だけが使えないのはおかしいのではないか。  
**建設林業課長** 管理会の了承があれば使える



上財産区 皆越宮床100年杉

ものと思う。  
**副町長** どういう方法なら使用できるか検討の余地はあるのではないかと理解している。

### ◎身障者の損害賠償請求について

**溝口** 昨年11月16日ポッポ一館で身障者の方が転倒され大ケガで入院された。町に対して900万円余の損害賠償請求訴訟がおこされた。御見舞いの気持ちを表していたら裁判にはならなかったのではないか。  
**町長** その都度誠意ある精一杯の対応をしてきた。

## 問 あさぎり町観光振興計画の実効性は



久保 尚人 議員

**久保** 2020年までの観光振興計画を策定したが、我が町が観光でお金を稼いでいく魅力ある観光資源を持ち合わせているのか。

**町長** 磨けば光る宝物はあるので日本遺産認定を機会に取り組む。地方創生でも、「健康と幸福」のテーマとリンクさせてやるのが大事だ。稼ぐというより、町民全体に元気の輪が広がっていく、そのような展開をやらなければならぬ。

**久保** 大事なものは、町が観光ポイントとしている箇所を維持運営している人達の地域活性化事業であり、文化と観光の両面からの支援も必要だ。

**副町長** 地域の方々に地元の文化財や史跡名所旧跡を維持してもらうらっているが、この地域をどう

守っていくか、活性化させていくかを真剣にとらえ関わっていくことで、新たな町の方策を見出していきたい。  
**久保** 観光事業に取り組む地域おこし協力隊の3年後の自立は。  
**町長** 2年間の取り組み後、議論させてもらいたい。

### 地域おこし協力隊

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。

総務省が隊員1人につき報償費等として年間200万円〜250万円、活動費として年間150万円〜200万円をそれぞれ上限に地方自治体に対して特別交付税措置する。隊員の期間は概ね1年以上最長3年まで。

Wikipediaより

## 熊本県町村議会 議員研修会に 参加して

市 岡 貴 純

演題「地方創生の課題と活性化対策―地方創生と地方議会の役割」

10月13日(木)菊陽町図書館ホールにおいて、読売新聞東京本社編集局企画委員青山彰久氏による講演が行われました。様々な経歴を持たれ、現在では、地方自治、地方財政、分権改革を

担当されている方でした。

私も本町の議会議員という立場を頂き半年余りが過ぎ、これからやるべき事、やらなければならぬ事が何なのか、いつも考えていますが、時には考えの入り口さえ見えない時もあります。研修会での講演内容でもあります地方創生とは何なのか、地方議員の役割とは何なのか、また一つ学ばせて頂きました。

◎地方議会とは「住民の広場」であり、3つの役割

- ①地域の政治的争点や政策情報を集約して公開する
- ②政治家を訓練する
- ③首長と行政機構を監視する

◎地方議員とは「地域づくりの専門家」であり、住民の生活感覚をもとに役所文化では生まれない

- ①「感性」
- ②「生活の知恵」
- ③「専門的な技術と技能」

を備え、地域全体を政治的に統合する専門家。

この事を私なりに理解し、このあさぎり町をいかに住み心地のいい町にしていくかを、住民のみならずと共に考え、今後、取り組んでまいりたいと思います。又、私も小さい子を持つ親でもあります。中、長期視点からみた地方創生と考えるならば、将来を担っていく子ども達の為にも教育環境をしっかりと整え、子どもから大人までが共にふれ合う機会を増やし、地域全体の文化の伝承を伝えていく事が「あさぎり町の宝」

を育てていく事と改めて感じました。今回の研修の機会を頂き、感謝とともに、今後の活動にしっかりと活かしていきたいと思えます。



## 上球磨町村議会 議員研修会に 参加して

難 波 文 美

7月28日(木)多良木多目的研修センターにおいて、公立多良木病院企業団の大島茂樹企業長より「地域の医療を守るためには」の演題で講演がありました。

厚生常任委員として、また企業団議会議員となって初めての議員研修というこ

とで、大変興味深くお話を聞かせて頂きました。

入院ベッド数は150床。4月の熊本地震発災後に、23人の被災者を受け入れられたとのことでした。

上球磨4ヶ町村で運営を担ってきた病院が年々困難な問題を抱えていく中で、病院企業団としての経営となったことで、自助努力を大きく求められるようになり、未だ大きな課題を複数抱えつつも企業長と職員が心一つに歩み出している

事実を熱心に語られました。公立多良木病院が対応できる医療人口は30分圏内約4万人もいるのです。

これらの人々に対して地域ニーズの高いものから支援を始め、当たり前のことをきちんとやるという姿勢を一貫していくとのことでした。

今年度から、企業コンサルタントに経営分析などを委託しこれまでに欠けていた点などが明確に認知されることにより、職員の患者

に対する接し方や医療業務への情熱・やる気が高まってきていることを実際の現場で感じる事が多くなりました。

また、念願の婦人科も再開し徐々にではありますが患者数も増加している状況です。

細部にわたって一足飛びに改善を求めるのは無理ですが、病院に関わる人たちの真摯な思いと行動がいつの日か、必ずや地域の高度医療サービスに結びつき、

私たちの生命を安心して託せる医療機関として存続できることを住民代表の立場でも強く願うところであり



# 町村議会常任委員長・ 運営委員長研修報告

小出 高明

平成28年8月23日、美里町文化交流センターに於いて町村議会運営委員長・常任委員長研修会が行われた。名古屋大学大学院生命農学専攻教授 生源寺眞一氏による「岐路に立つ日本の農業・TPP交渉大筋合意を念頭に」を演題にしての研修であった。TPP対策の検討が本格化。早期に出来るだけ具体的な方針と、国民にもたらす利益の評価を行う事が大切であり、この検討を契機に、農政全般のあり方を見直す事も重要である。日本農業の強みは、高品質の農産物を生み出すパワーであり、優れた生産工程が、環境保全型農業の実践へとつながっていく。又、先端技術を利用した、情報発信による消費者への食の安全・安心のアピールは、



現代の若者の強みの一つで、情報の発信・交流が先進的な農業経営、これからの農業の形でもある。という内容であった。毎日のように生き物と向き合う現場発の情報だからこそ、人々の心の奥に届き、本来の土の香りの農業がある事を忘れてはならないのである。

## 議会活性化 特別委員会報告

小見田 和行

あさぎり町議会の最高規範である基本条例が施行され4年目を迎える。この間、各議員が基本条例を理解し発言、行動してきたのか検証するとともに今後さらに町民の負託に応えるべく議員の役割と責任を自覚するため特別委員会を設置し研鑽する事となった。尚、今回の委員会の特徴は、毎月一回の勉強会を開き議員の資質向上を目指す取り組みを行う。6月1日設置後の委員会の主な議事は以下の通りである。

- 議会基本条例の見直しについて
  - 議会議事堂移転について
  - 議会報告会について
  - 中学生議会について
  - 議会研修会(勉強会)について
- 勉強会は8月22日緒方県議を講師に県政の報告をいただいた。9月8日は決算認定について復習を兼ね、議会事務局長とともに勉強した。

# 正副議長会交流会

平成28年9月21日に上球磨正副議長会に合わせて、宮崎県の隣接する椎葉村正副議長と西米良村正副議長との交流会が開催されました。これは、毎年持ち回りで行われているもので、今回は椎葉村で開催されました。

椎葉村には、平家の落人伝説が伝わる「鶴富屋敷」国の天然記念物の「八村杉」日本初のアーチ式ダム「上椎葉ダム」伝統的建造物群保存地区「十根川集落」などがあります。「ひえつき節」をはじめとし、多くの民謡が伝承されており、村内26の集落に「神楽」が保存されています。毎年11月には「椎葉平家まつり」が開催され、多くの人出で賑わいます。

交流会では各議長がそれぞれ挨拶された後、公立多良木病院企業団の大島企業長、上球磨消防組合の吉鶴消防長より現状報告があったところです。

大島企業長は入院患者数も増えてきていることや、椎葉村からもたくさんのお患者に来ていただいていることを話されました。

吉鶴消防長は火災の状況や救急出動件数の推移などを話され、近年は救急出動が増加していること、救急出動の約半数(49%)が入院の必要のない軽傷の患者であること、また椎葉村へも年間数件の救急出動があることを報告されました。

椎葉村では移住定住者の募集をされており、現在3名の移住者がおられ、現在地域興し協力隊を2名採用、秘境de農業ということで1名が研修しているようです。椎葉好き人ファンクラブが結成され、1,073名が登録され、春夏の2回交流体験会が実施されているようです。是非、椎葉村に遊びに来てくださいということでした。

交流会の最後には椎葉村黒木副村長から、隣接する上球磨地域は生活圈であり、公立多良木病院と上球磨消防署は椎葉村にとってもなくてはならないものなので感謝しているとのことでした。来年は球磨郡開催となりますので、元気で再会することを祈念して帰路につきました。

# 住民とともに議員のボランティア活動

## 菜の花プロジェクト



青年団主催による除草作業  
(10月16日)

## 球磨畜産共進会



共進会の応援に全議員で!!  
(9月13日)

## 郡民体育祭選手応援



空手応援(山江村)  
7月10日、17日、24日に議員で  
各会場に応援に行きました。

## 南稜高校育友会 ビーチ大会に参加



地元の南稜高校を盛り上げよう  
(7月9日)

## くま川マラソン大会



ハーフ周回  
コースにむけて  
交通量調査



大会の成功を願って  
駐車場の整備と  
参加賞の準備



# 一部事務組合及び常任委員会報告

## 公立多良木病院企業団議会

○9月2日(金)

第3回定例会が開催され、平成27年度決算について、病院事業でマイナス2億9,684万円となり、昨年度比7,000万円の改善。老健事業においてはプラス2,955万円、昨年度比マイナス3,000万円、健診事業ではマイナス2,214万円、昨年度比プラス140万円の改善となった。議員発議で球磨郡公立多良木病院企業団の経営支援等に関する特別委員会が設置される事となった。

## 人吉球磨広域行政組合議会

○8月26日(金)

クリーンプラザにおいて第3回定例会が開催され、一般会計補正予算、人吉球磨ふるさと市町村圏特別会計補正予算、特別養護老人ホーム特別会計補正予算の3議案について、原案のとおり可決、決定

## 厚生常任委員会

○7月20日(水)

生活困窮者自立支援法について生活福祉課より説明があり、あさぎり町内の生活保護世帯は89世帯で保護人数121名であった。

救護施設しらがね寮の現状について

生活福祉課より説明があり、平成28年度救護施設に防犯システムを設置し、税込み総額で1,215,000円。救護施設の財政的な状況について、総務費は国



むし歯ゼロを目指して歯科教室

が定めた単価があり一人当たり平成27年4月で191,030円。事業費として基準額が59,800円。全体で約1億9,000万円となり、約3,000万円位が町の一般財源からの支出となる。

○8月22日(月)

フッ化物洗口の安全性について

健康推進課より説明があり、通常のフッ化物洗口では人体への影響は無い。むし歯予防については、あわせてブラッシングも重要だ。学校でフッ化物洗口を希望されていない保護者は今年度は約30人位。

子宮頸がんワクチン接種について

健康推進課より説明があり、現在3名の方が接種されている。

あさぎり町温泉施設の方向性について

生活福祉課より「あさぎり町温泉施設運営方針」に基づいて3施設の運営方針の説明があり、今後、議会全員協議会で説明後、「あさぎり町公有財産活用審議会」へ諮問し、答申を受けて地区説明会へと進めたい。



## 総務文教常任委員会

○7月19日(火)

### 公共施設等総合管理計画について

総務課から、207ヶ所ある施設の基本的なデータを財産台帳から拾い上げ、今後は各担当課で調査をする。それぞれの施設の**安全性・機能性・環境性・社会性・経済性**を調査した後に、業者を交えた評価判定を9月中にできればと考えているとの説明を受けた。委員からは、「評価判定によっては施設の解体等が出てくると思うが、合併特例債等の有利な起債が使える時に早急に判断して頂く事を要望する」という意見があり、担当課としても、「指摘の通りそれぞれの課題を

なるべく早くクリアできるようにしたい」との答弁だった。委員会としては、今後も継続して調査をしていく事として委員会を終了した。

○8月17日(水)

### 青少年健全育成基本法制定のための陳情書について

陳情書の依頼人である熊本Puriforamの事務局長に参考人として出席して頂き説明を受け、その後の委員会からの質疑では、「熊本を漫画の聖地にしようと活動されている人たちがいるので、この法律の制定によってこれまで普通に読めていた漫画が有害図書として区別されないようにしてほしい」「有害図書の他にもインターネット等子どもでも簡単に見られる酷い物がある。そういう事に対しても取り締まれるような形にしてほしい」等の意見質問があった。

その後、参考人退席の後審査に入り、委員会としてこの陳情書は「採択すべきもの」とした。

### その他の調査

薬草加工所建設のための旧深田中学校グラウンドの用途変更について

○8月31日(水)

旧須恵中学校グラウンド残地分譲について

## 建設経済常任委員会



上財産区分収林現地調査

○8月19日(金)

### 上財産区現地調査

### 上財産区分収林買上げについて

まず、上財産区3地区の分収林を現地調査。建設林業課担当より説明を受け、その後、比較検討林として深田地区2ヶ所の分収林を調査した。いずれの分収林も成育良好で、地区民の山に対する思いを感じながら山を後にする。

議場研修室にて、分収林買上げ額の試算、買上げについて説明を受ける。委員から、今回の歩留り、

買上げ額の変更、財産区の運営のあり方、今後の分収林のあり方等に質疑があったが、本委員会としては町の計画で進めていくことを了承する。

### 薬草加工所建設進捗状況及び今後の進め方について

農業振興課より説明を受ける。質疑では、町・ツムラ社・薬草合同会社三者による協定書締結について集中。より安定的・長期的な協定になるよう要望する。

### その他

国営川辺川土地改良事業計画変更に関する同文議決案について説明を受ける。



健やかな成長のために「青少年健全育成基本法」制定を

# 町民の声

## 若手農家に夢と希望をもてる制度を



免田 (黒田)

橋口 和任 さん

私は、今年 18 年勤めていた J A を退職し就農しました。  
我が家の経営は、トルコギキョウを主体としていますが、現実は大変厳しいものと実感しています。

友人等に聞いてみると、他町村では新規就農者に対して手厚い助成等があると聞きます。

あさぎり町でもそういう制度があると新規就農者にも励みになると思います。農家の高齢化や食料自給率の低下が叫ばれる中、将来の担い手となる若手農家に夢と希望を持てる制度を望みます。

最後に、現役消防団員として、今年度は天候不順で災害の多い年となっています。熊本地震の一日も早い復旧、復興を願っています。

## 新たな居場所



深田 (植の里)

喜多村 和歌子 さんと  
ご家族

山形県山形市に生まれ白バイ隊を夢見た私に、あるお坊さんが大阪で恋をし、いつの間にか善正寺(まこと保育園・学童、なかま幼稚園)の跡取りとして昨年の 6 月にあさぎり町へ引っ越して来ました。当初は、球磨弁や地区が細かく分かれていることも知らず「深田の内山の〇〇です」と名乗られても、「すみません。するとお名前は、深田さんですか? 〇〇さんですか?」と聞き返す始末でした。

お寺の仕事では、ご先祖を大切に一族のこれまでを想うご門徒の心に学ばされ、園の仕事では、子どものこれからを想う大人たちの熱意に動かされ、濃厚な一年半が経とうとしています。深田に限ったことでは無いでしょうが、地域交流がとても頻繁ですね。私たちの様な新参者をも迎え入れてくださる温かい雰囲気。年齢や立場も関係なく酒を飲み交わし、これからの話をする時「移り住んで良かった。」としみじみ想います。

ありがとう! あさぎり町。そして、これからもよろしくお願いします。

## 編集後記

秋のお彼岸の三十三観音参りに今年も県内外から大勢の方が来られました。

それぞれの地域で守りつがれてきた神社仏閣。おもてなしを受け来訪者の笑顔に改めて地元が持つ「文化と歴史」のすばらしさを実感しております。

日本遺産のみならず、身近な地元の魅力「世間遺産」を探して、みなさまもお出かけされてみてはいかがでしょうか。

名月をとってくれると

泣く子かな 一茶  
(加賀山瑞津子)



### 編集・発行責任者

議長 山口 和幸

### 広報調査特別委員会

委員長 橋本 誠  
副委員長 加賀山 瑞津子  
委員 奥田 公人  
委員 豊永 高喜  
委員 小出 明  
委員 市岡 貴純



あさぎり町議会だよりはホームページでもご覧頂けます。

発行/あさぎり町議会 編集/議会広報調査特別委員会  
〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北1855番地  
TEL(0966)47-0312・FAX(0966)47-0265  
E-mail syoki-gikai@town.asagiri.lg.jp 印刷:旬コーポグラフィックス